

平成30年度

# 企業局の概要

島根県企業局

# 目 次

## 【総括的事項】

1. 企業局の沿革	1
2. 企業局の組織	4
(1) 組織図	4
(2) 所在地	4
3. 職員配置	5
4. 決算状況	6
平成29年度決算総括表	6
5. 平成30年度当初予算の概要	7
(1) 電気事業会計	7
(2) 工業用水道事業会計	8
(3) 水道事業会計	9
(4) 宅地造成事業会計	10
付表 ダム費用負担割合表	11

## 【電気事業】

1. 事業の概要	13
2. 供給電力量の状況	14
3. 営業収支の状況	14
4. 発電所一覧表	15
(1) 水力発電所	15
(2) 風力発電所	18
(3) 太陽光発電所	19

## 【工業用水道事業】

1. 事業の概要	21
2. 給水計画	22
3. 営業収支の状況	23
4. 施設の概要	24
(1) 飯梨川工業用水道事業	24
(2) 江の川工業用水道事業	25
5. 概要図	26

## 【水道事業】

1. 事業の概要	27
2. 給水計画	28
3. 営業収支の状況	29
4. 施設の概要	30
(1) 島根県水道用水供給事業	30
(2) 江の川水道用水供給事業	32
5. 概要図	33

## 【宅地造成事業】

1. 事業の概要	35
2. 営業収支の状況	35
3. 江島工業団地造成事業	36
(1) 事業の概要	36
(2) 土地利用状況	36
(3) 団地内配置図	37
4. 江津地域拠点工業団地造成事業	38
(1) 事業の概要	38
(2) 土地利用計画	38
(3) 団地内配置図	39

企業局事業概要図	41～42
----------	-------

# 總括的事項



# 1. 企業局の沿革

- 昭和26.10 島根県土木部砂防電気課において三成発電所の建設に着手
- 29. 6 三成発電所竣工運転開始（出力2,830kW）
  - 30. 1 八戸川発電所建設着工
  - 33. 1 八戸川発電所竣工運転開始（出力5,400kW）
    - 4 三隅川発電所建設着工
  - 35. 4 砂防電気課を砂防課に改め、新たに地方公営企業法を適用し電気局発足。本局に総務課、工務課を置く。
  - 36. 3 浜田川発電所建設着工
    - 4 三隅川発電所竣工運転開始（出力7,400kW）
    - 9 矢原川発電所竣工運転開始（出力100kW）
  - 38. 4 浜田川発電所竣工運転開始（出力2,000kW）
    - 4 飯梨川総合開発事業（布部ダム）に着手（工業用水道、発電他）（受託）し、調査事務所を設置する。
  - 39. 4 飯梨川発電所建設着工し、飯梨川総合調査事務所を建設事務所に改める。
  - 40. 4 電気局を企業局に改める。
    - 4 飯梨川都市用水事業（水道創設分、工業用水道）建設着工
  - 42. 3 飯梨川第二発電所建設着工
  - 43. 4 飯梨川第一発電所竣工運転開始（出力3,000kW）
    - 4 八戸川総合開発予備調査に着手
  - 11 飯梨川第二発電所竣工運転開始（出力1,400kW）
  - 44. 4 宅地造成事業（道分山開発事業）工事着工し、出張所を設置する。
    - 6 飯梨川水道事業（創設分）松江市、東出雲町に対し給水開始
    - 6 飯梨川工業用水道事業一部給水開始
  - 45. 3 飯梨川都市用水道事業竣工（工業用水34,000m<sup>3</sup>/日、水道用水16,000m<sup>3</sup>/日）
    - 4 八戸川総合開発事業実施調査に着手し、調査事務所を設置する。
    - 4 道分山開発出張所を事務所に改める。
  - 46. 3 道分山開発事業第一期工事竣工
    - 4 八戸川総合開発事業（八戸ダム）建設に着手（都市用水230,000m<sup>3</sup>/日、発電）し、調査事務所を建設事務所に改める。
    - 4 新八戸川発電所建設着工
  - 47. 9 道分山開発事業第二期工事竣工
  - 48. 4 山佐川総合開発事業に着手（受託）（水道用水36,000m<sup>3</sup>/日）し、建設事務所を置く。
    - 4 美田川総合開発事業に着手（受託）し、建設事務所を置く。
    - 6～9 異常湧水により飯梨川都市用水水源枯渇
    - 7 飯梨川水道事業（創設分）、安来市へ給水開始
    - 10 境港（江島地区）臨海工業用地造成事業着工
  - 49. 4 企業局の組織を改め本局に総務課、経営課、開発課を置く。
  - 50. 4 企業局の組織を改め本局に総務課、経営課、開発第一課、開発第二課を置く。
  - 51. 3 八戸川総合開発事業竣工
    - 4 八戸川第二発電所（新八戸川発電所を改称）竣工運転開始（出力2,500kW）
    - 4 八戸川第一発電所（八戸川発電所を改称）出力増、運転開始（出力5,400kW→6,000kW）
  - 52. 3 道分山開発事業第三期工事竣工
    - 4 企業局の組織を改め開発第二課を廃止、開発第一課を開発課と改称

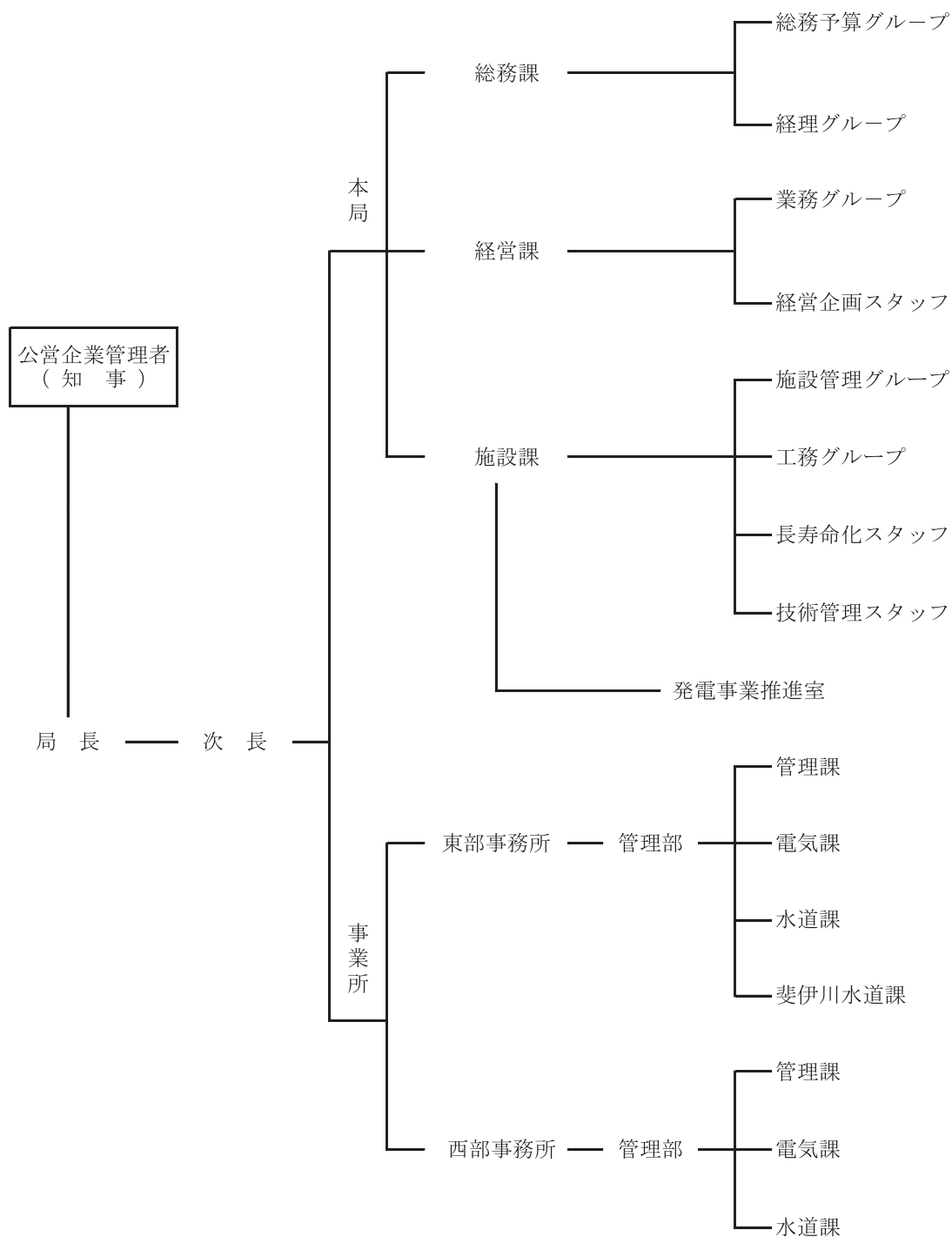
- 昭和53. 6 美田川総合開発事業竣工
- 55. 4 江の川都市用水道（工業用水50,000m<sup>3</sup>/日、水道用水27,000m<sup>3</sup>/日）事業に着手し、江の川水道建設事務所を置く。
    - 4 江津地域拠点工業団地造成事業に着手
    - 4 山佐川総合開発事業（山佐ダム）竣工
    - 5 飯梨川水道（拡張分）松江市、東出雲町へ給水開始
  - 56. 4 江の川水道建設事務所を石見地域開発事務所に改める。
    - 4 八戸川第一発電所2号機増設工事に着手
    - 4 三隅川総合開発事業（御部ダム）に参加（御部発電所 460kW）
  - 57. 4 八戸川第一発電所2号機竣工運転開始（出力1,500kW）
    - 4 八戸川第一発電所認可出力変更（6,000kW→6,300kW）
    - 6 飯梨川水道（拡張分）八束町へ給水開始
  - 58. 4 江島工業団地分譲開始
    - 7 58年7月豪雨災害（八戸川発電所・三隅川発電所（矢原川））罹災
  - 59. 4 笠柄地区宅地造成工事着手
    - 4 江津地域拠点工業団地分譲開始
    - 7 飯梨川水道（拡張分）安来市へ給水開始
  - 60. 4 江の川水道事務所を開設
    - 4 江の川水道給水開始（江津市、大田市、温泉津町、仁摩町）
  - 61. 2 御部発電所建設着工
    - 4 企業局の組織を改め本局に総務課、工務課を置く。
  - 62. 4 志津見ダム建設事業に参加（神戸川工業用水 30,000m<sup>3</sup>/日）
  - 63. 3 笠柄地区宅地造成工事概成
    - 4 企業局の組織を改め、工務課を業務課と改称
    - 4 笠柄地区宅地概成地を住宅供給公社に引継
    - 7 63年7月豪雨災害（八戸川発電所・浜田川発電所）罹災
- 平成元. 3 飯梨川第三発電所建設着工
- 2. 4 御部発電所竣工運転開始（出力460kW）
  - 3. 4 飯梨川第三発電所竣工運転開始（出力250kW）
  - 5. 2 尾原ダム建設事業に参加（斐伊川水道 35,400m<sup>3</sup>/日）
    - 3 浜田川総合開発事業（第二浜田ダム）に参加（新浜田川発電所 560kW）
    - 4 企業局の組織を改め、本局業務課建設係を建設第一係、建設第二係に改組
  - 6. 4 斐伊川水道建設事務所を開設
    - 7 旭拠点工業団地造成事業に着手
    - 7～9 異常渇水により飯梨川都市用水給水制限（10～20%）
    - 7. 3 J Aおおち及びJ A那賀みどりから勝地川発電所を譲受
      - 4 企業局の組織を改め、本局に総務課、経営課、開発課を置く。
      - 4 勝地川発電所（140kW）運転開始
    - 8. 4 企業局の組織を改め、5発電所・2水道事務所を2管理事務所（東部事務所・西部事務所）に集中化
      - 4 発電集中制御運用開始
      - 8 江の川工業用水道給水開始
    - 9. 3 旭拠点工業団地第1工区造成工事竣工
      - 4 旭拠点工業団地第1工区分譲開始
      - 7 病原性原虫対策のため、飯梨川水道全量を暫定的に拡張分設備で送水開始
    - 10. 1 八雲村特例給水開始
      - 3 勝地川発電所廃止及び勝地発電所建設着工
      - 3 旭拠点工業団地第2工区造成工事竣工
      - 4 旭拠点工業団地第2工区分譲開始

- 平成11.10 八戸川第三発電所建設着工
- 12. 4 飯梨川水道（第2期拡張分）供用開始
  - 8 企業局40周年記念事業実施
  - 10 勝地発電所運転開始（出力770kW）
  - 10 八戸川第三発電所運転開始（出力240kW）
  - 13. 4 玉湯町特例給水開始
  - 5 志津見ダム基本計画が変更され、工業用水を減量（神戸川工業用水 30,000 m<sup>3</sup>/日→10,000m<sup>3</sup>/日）し、電気事業が参加（志津見発電所 1,700kW）
  - 14. 9 隠岐大峯山風力発電所建設着工
  - 16. 2 隠岐大峯山風力発電所運転開始
  - 4 企業局の組織を改め、斐伊川水道建設事務所を廃止し、開発課へ統合
  - 17. 3 旭拠点工業団地へ矯正施設の誘致が決定
  - 6 異常渇水により飯梨川都市用水給水制限（10%）
  - 9 宍道湖湖底管敷設工事着工
  - 18. 3 島根県企業局経営計画（平成18年度～22年度）の策定
  - 10 旭拠点工業団地用地を法務省へ売却
  - 19. 2 江津高野山風力発電所建設着工
  - 4 企業局の組織を改め、開発課を施設課と改称
  - 8 志津見発電所建設着工
  - 21. 2 江津高野山風力発電所運転開始
  - 22. 3 八戸川工業用水道事業を一般会計へ移管
  - 23. 3 島根県企業局経営計画（平成23年度～27年度）の策定
  - 4 志津見発電所竣工運転開始（出力1,700kW）
  - 4 斐伊川水道給水開始（松江市、出雲市、雲南市、東出雲町）
  - 24. 3 神戸川工業用水道事業を一般会計へ移管
  - 25. 7 江津浄水場太陽光発電所建設着工
  - 26. 3 江津浄水場太陽光発電所運転開始（出力430kW）
  - 27. 3 浜田川発電所廃止
  - 5 石見空港太陽光発電所建設着工
  - 6 三隅港臨海工業団地太陽光発電所建設着工
  - 7 江津地域拠点工業団地太陽光発電所建設着工
  - 11 三成ダムが土木遺産に認定
  - 28. 3 三隅港臨海工業団地太陽光発電所運転開始（出力1,800kW）
  - 3 江津地域拠点工業団地太陽光発電所運転開始（出力1,200kW）
  - 3 島根県企業局経営計画（平成28年度～37年度）の策定
  - 3 江の川水道送水設備の一部を受水団体へ移管
  - 4 施設課に発電事業推進室を設置
  - 4 八戸川第二発電所リニューアル運転開始
  - 8 雲南市から田井発電所を譲受（出力100kW）
  - 9 八戸川第一発電所2号機リニューアル運転開始
  - 29. 3 飯梨川第二発電所リニューアル運転開始（出力1,400kW）
  - 3 松江市八束町への直接給水終了
  - 6 石見空港太陽光発電所運転開始（出力3,490kW）
  - 6 隠岐大峯山風力発電所3号機廃止
  - 30. 3 江島工業団地の未分譲区画（7,633.45m<sup>2</sup>）分譲決定。平成30年度完売見込

## 2. 企業局の組織

### (1) 組織図

(H30.4現在)



### (2) 所在地

本局	〒690-8501 松江市殿町8番地 (県庁南庁舎2階)	TEL 0852-22-5673(代) FAX 0852-22-5679
東部事務所	〒692-0002 安来市上坂田町545-1	TEL 0854-22-2748(代) FAX 0854-22-5460
斐伊川水道課	〒699-1122 雲南市加茂町三代96-2	TEL 0854-49-9191(代) FAX 0854-49-9190
西部事務所	〒699-2837 江津市松川町上河戸703	TEL 0855-57-0221(代) FAX 0855-57-0049

### 3. 職 員 配 置

(H30. 4. 1現在)

職 種 所 属	事務 職員	技 術 職 員			小計	合計
		土木	電気	化学		
本 局	局長・次長	1	1		1	2
	総務課	9		2	2	11
	経営課	7		2	2	9
	施設課		4	8	12	12
	計	17	5	12	17	34
東 部 事 務 所	3	3	25	2	30	33
西 部 事 務 所	2	4	14	1	19	21
合 計	22	12	51	3	66	88

## 4. 決算状況

平成29年度決算総括表

(単位：千円)

科目	電気事業会計	工業用水道事業会計	水道事業会計	宅地造成事業会計	合計
(収益の部)					
営業収益	2,554,868	176,552	1,613,459	188,002	4,532,881
財務収益	4,667	—	—	—	4,667
営業外収益(※1)	195,303	24,441	353,468	860	574,072
特別利益	175,770	0	3,446	0	179,216
計	2,930,608	200,993	1,970,373	188,862	5,290,836
(費用の部)					
営業費用	2,063,460	158,509	1,675,897	193,830	4,091,696
財務費用	36,174	—	—	—	36,174
営業外費用(※2)	54,825	7,187	179,040	1	241,053
特別損失	65,831	0	0	0	65,831
計	2,220,290	165,696	1,854,937	193,831	4,434,754
当年度純利益	710,318	35,297	115,436	—	861,051
当年度純損失	—	—	—	4,969	4,969
(資産の部)					
固定資産	12,813,170	2,046,276	36,864,593	36,504	51,760,543
宅地造成	—	—	—	1,466,355	1,466,355
流動資産	4,989,162	410,866	1,957,093	205,013	7,562,134
資産合計	17,802,332	2,457,142	38,821,686	1,707,872	60,789,032
(負債の部)					
固定負債	7,412,043	2,697,468	9,107,911	1,375,201	20,592,623
流動負債	1,090,236	138,915	902,490	13,049	2,144,690
繰延収益	1,624,473	511,467	11,441,395	0	13,577,335
負債合計	10,126,752	3,347,850	21,451,796	1,388,250	36,314,648
(資本の部)					
繰入資本金	4,671	60,901	12,185,694	0	12,251,266
組入資本金	6,173,801	337,223	5,297,709	303,683	12,112,416
計	6,178,472	398,124	17,483,403	303,683	24,363,682
資本剰余金	1,594	37,641	385,088	30,356	454,679
利益剰余金	1,495,514	△ 1,326,473	△ 498,601	△ 14,417	△ 343,977
計	1,497,108	△ 1,288,832	△ 113,513	15,939	110,702
資本合計	7,675,580	△ 890,708	17,369,890	319,622	24,474,384
負債・資本合計	17,802,332	2,457,142	38,821,686	1,707,872	60,789,032

(※1)電気事業会計は事業外収益

(※2)電気事業会計は事業外費用

## 5. 平成30年度当初予算の概要

### (1) 電気事業会計

(単位：千円)

区 分	平成30年度 当初予算	平成29年度 当初予算	増 減	平成30年度当初予算の内訳	
収 益 的 収 入 ・ 支 出	<b>電気事業収益</b>	<b>2,504,654</b>	<b>2,607,633</b>	<b>△ 102,979</b>	
	営業収益	2,019,037	2,459,111	△ 440,074	電気料金(風力・水力・太陽光)ほか
	財務収益	5,683	3,145	2,538	受取利息
	事業外収益	479,934	145,377	334,557	長期前受金戻入益ほか
	<b>電気事業費用</b>	<b>2,812,076</b>	<b>2,427,995</b>	<b>384,081</b>	
	営業費用	2,754,169	2,378,439	375,730	発電所管理費ほか
	財務費用	30,682	38,239	△ 7,557	支払利息
	事業外費用	25,225	9,317	15,908	受託工事費ほか
	予備費	2,000	2,000	0	
	<b>当期損益 (消費税除く)</b>	<b>△ 681,088</b>	<b>62,613</b>	<b>△ 743,701</b>	
資 本 的 収 入 ・ 支 出	<b>資本的収入</b>	<b>4,487,350</b>	<b>1,292,777</b>	<b>3,194,573</b>	
	企業債	4,421,000	1,227,000	3,194,000	
	投資回収金	66,350	65,777	573	長期貸付金返還金
	<b>資本的支出</b>	<b>5,521,948</b>	<b>2,081,006</b>	<b>3,440,942</b>	
	建設改良費	5,053,442	1,536,442	3,517,000	水力発電所再開発事業費ほか
	企業債償還金	363,506	360,032	3,474	
	繰出金	100,000	179,532	△ 79,532	一般会計繰出金
予備費	5,000	5,000	0		
<b>収支差(補填)</b>	<b>△ 1,034,598</b>	<b>△ 788,229</b>	<b>△ 246,369</b>		

## (2) 工業用水道事業会計

(単位：千円)

区 分		平成30年度 当初予算	平成29年度 当初予算	増 減	平成30年度当初予算の内訳
収 益 的 収 入 ・ 支 出	<b>工業用水道事業収益</b>	<b>226,792</b>	<b>225,270</b>	<b>1,522</b>	
	営業収益	192,078	190,795	1,283	給水収益ほか
	営業外収益	34,714	34,475	239	長期前受金戻入益ほか
	<b>工業用水道事業費用</b>	<b>209,090</b>	<b>200,777</b>	<b>8,313</b>	
	営業費用	200,860	193,008	7,852	管理経費ほか
営業外費用	8,230	7,769	461	支払利息ほか	
	<b>当期損益 (消費税除く)</b>	<b>3,127</b>	<b>10,648</b>	<b>△ 7,521</b>	
資 本 的 収 入 ・ 支 出	<b>資本的収入</b>	<b>199,745</b>	<b>190,642</b>	<b>9,103</b>	
	企業債	180,900	171,500	9,400	布部系送水管路耐震対策事業費ほか
	長期借入金	18,845	19,142	△ 297	一般会計借入金
	<b>資本的支出</b>	<b>254,454</b>	<b>252,496</b>	<b>1,958</b>	
	建設改良費	196,817	186,905	9,912	布部系送水管路耐震対策事業費ほか
企業債償還金	57,637	65,591	△ 7,954		
	<b>収支差(補填)</b>	<b>△ 54,709</b>	<b>△ 61,854</b>	<b>7,145</b>	



## (3) 水道事業会計

(単位：千円)

区 分		平成30年度 当初予算	平成29年度 当初予算	増 減	平成30年度当初予算の内訳
収 益 的 収 入 ・ 支 出	<b>水道事業収益</b>	<b>2,077,455</b>	<b>2,137,851</b>	<b>△ 60,396</b>	
	営業収益	1,740,179	1,802,272	△ 62,093	給水収益ほか
	営業外収益	337,276	335,579	1,697	長期前受金戻入益ほか
	<b>水道事業費用</b>	<b>2,106,470</b>	<b>2,110,220</b>	<b>△ 3,750</b>	
	営業費用	1,877,532	1,880,269	△ 2,737	管理経費ほか
	営業外費用	228,938	229,951	△ 1,013	支払利息ほか
	<b>当期損益 (消費税除く)</b>	<b>△ 39,938</b>	<b>△ 4,477</b>	<b>△ 35,461</b>	
資 本 的 収 入 ・ 支 出	<b>資本的収入</b>	<b>69,300</b>	<b>314,175</b>	<b>△ 244,875</b>	
	企業債	63,400	310,600	△ 247,200	
	出資金	5,900	0	5,900	
	負担金返還金	0	3,575	△ 3,575	
	<b>資本的支出</b>	<b>888,873</b>	<b>1,152,084</b>	<b>△ 263,211</b>	
	建設改良費	147,564	433,548	△ 285,984	
	企業債償還金	618,172	596,075	22,097	
	長期借入金償還金	123,137	122,461	676	県費借入金償還金ほか
	<b>収支差(補填)</b>	<b>△ 819,573</b>	<b>△ 837,909</b>	<b>18,336</b>	

## (4) 宅地造成事業会計

(単位：千円)

区 分		平成30年度 当初予算	平成29年度 当初予算	増 減	平成30年度当初予算の内訳
収益的 収入・ 支出	<b>土地造成事業収益</b>	<b>56,678</b>	<b>55,637</b>	<b>1,041</b>	
	営 業 収 益	55,728	55,053	675	その他営業収益
	営 業 外 収 益	950	584	366	受取利息ほか
	<b>土地造成事業費用</b>	<b>70,277</b>	<b>72,142</b>	<b>△ 1,865</b>	
	営 業 費 用	68,043	67,327	716	一般管理費ほか
	営 業 外 費 用	2,234	4,815	△ 2,581	雑支出ほか
	<b>当 期 損 益</b>	<b>△ 13,599</b>	<b>△ 16,505</b>	<b>2,906</b>	
支資本 的 収入・ 出	<b>資本的収入</b>	<b>266,300</b>	<b>22,200</b>	<b>244,100</b>	
	企 業 債	266,300	22,200	244,100	
	<b>資本的支出</b>	<b>294,044</b>	<b>129,841</b>	<b>164,203</b>	
	土 地 造 成 費	294,044	129,841	164,203	江津地域拠点工業団地造成 事業費ほか
	<b>収 支 差 (補 填)</b>	<b>△ 27,744</b>	<b>△ 107,641</b>	<b>79,897</b>	

附表

ダム費用負担割合表

(単位：%)

負担者 ダム名	島根県企業局			島根県	国 (含その他)	
	計	電気	工業用水道			水道
三成ダム	21.50	21.50	—	—	78.50	—
八戸ダム	6.55	1.50	3.45	1.60	93.45	—
木都賀ダム	79.90	79.90	—	—	20.10	—
布部ダム	18.30	1.60	11.91	4.79	81.70	—
山佐ダム	28.30	0.30	—	28.00	71.70	—
御部ダム	0.30	0.30	—	—	99.70	—
志津見ダム	0.40	0.40	—	—	2.70	96.90
尾原ダム	5.00	—	—	5.00	—	95.00
大長見ダム	0.30	0.30	—	—	96.30	3.40

# 電 氣 事 業

# 【電 気 事 業】

## 1. 事業の概要

島根県の電気事業は、戦後復興期の電力増強の要請に応じるため、昭和26年、土木部砂防電気課において砂防事業と共同で三成発電所を建設したことを始まりとしている。

以後、河川総合開発事業に参画した新規エネルギー開発や既設ダム及び既設発電所の未利用エネルギー活用に積極的に取り組んできた。その後、風力及び太陽光発電にも着手し、いわゆる再生可能エネルギーの取り組みを広げてきている。

水力発電については、平成28年8月1日に雲南市から田井発電所を譲受し、現在、13水力発電所、最大出力27,050kWで営業運転を行っている。

また、再生可能エネルギーの導入促進のため、新規小水力発電所の開発に取組み、山佐発電所及び大長見発電所を建設中である。

風力発電所については、隠岐大峯山風力発電所及び江津高野山風力発電所で営業運転を行っている。

なお、平成29年6月の隠岐大峯山風力発電所3号機の廃止に伴い、最大出力は前年度比600kW減の21,900kWとなっている。

太陽光発電については、江津浄水場太陽光発電所のほか2発電所、平成29年6月からは最大出力3,490kWの石見空港太陽光発電所の計4発電所、最大出力6,920kWで営業運転を行っている。

なお、平成24年7月に「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法」が施行（再生エネルギーの固定価格買い取り制度創設）されたことから、同制度を活用し、増収を図っている。

## 2. 供給電力量の状況

(単位：MWh)

区分 発電所名	平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度
	供給電力量	目標電力量	比率(%)	供給電力量	目標電力量	比率(%)	供給電力量	目標電力量	比率(%)	目標電力量
三 成	15,493	15,061	102.9	7,410	7,290	101.6	0	0	—	0
飯梨川第一	13,063	13,543	96.5	14,786	6,646	222.5	13,249	13,543	97.8	10,271
飯梨川第二	6,531	6,510	100.3	3,885	3,226	120.4	6,859	6,510	105.4	5,009
飯梨川第三	1,477	1,518	97.3	1,524	1,518	100.4	1,253	1,518	82.5	1,518
志 津 見	13,417	7,972	168.3	13,316	7,972	167.0	13,522	7,972	169.6	12,132
八 戸 川 第一・第二・第三	19,273	42,573	45.3	34,115	33,568	101.6	43,881	42,805	102.5	27,376
勝 地	2,641	3,219	82.0	2,126	3,219	66.0	3,128	3,219	97.2	3,219
三 隅 川	34,670	34,088	101.7	40,110	34,088	117.7	33,637	34,088	98.7	0
御 部	1,728	2,154	80.2	2,595	2,154	120.5	1,979	2,154	91.9	2,154
矢 原 川	425	493	86.2	401	493	81.3	425	493	86.2	493
田 井	—	—	—	529	—	—	693	820	84.5	404
水力発電合計	108,718	127,131	85.5	120,797	100,174	120.6	118,626	113,122	104.9	62,576
隠岐大峯山	2,400	4,181	57.4	2,195	3,524	62.3	2,145	2,595	82.7	2,595
江津高野山	23,192	34,772	66.7	27,528	30,774	89.5	33,241	30,774	108.0	30,774
風力発電合計	25,592	38,953	65.7	29,723	34,298	86.7	35,386	33,369	106.0	33,369
江津浄水場	486	436	111.5	456	437	104.3	469	437	107.3	437
三隅港臨海工業団地	238	300	79.3	2,383	2,036	117.0	2,427	2,036	119.2	2,036
江津地域拠点工業団地	168	212	79.2	1,723	1,482	116.3	1,774	1,482	119.7	1,482
石見空港	—	—	—	0.0	342	0.0	3,516	3,081	114.1	3,937
太陽光発電合計	892	948	94.1	4,562	4,297	106.2	8,186	7,036	116.3	7,892

1. 八戸川第一、第二、第三発電所は一括計量
2. 江津浄水場太陽光発電所は平成26年3月から運転開始
3. 三隅港臨海工業団地及び江津地域拠点工業団地太陽光発電所は平成28年3月から運転開始
4. 石見空港太陽光発電所は平成29年6月から運転開始
5. 目標電力量はリニューアル工事に伴う停止時間を反映
6. 田井発電所は平成28年8月1日に雲南市から譲受

## 3. 営業収支の状況

(単位：千円)

科 目	平成27年度	平成28年度	平成29年度
営 業 収 益 (うち料金収入)	1,908,763 (1,902,939)	2,247,528 (2,241,324)	2,554,868 (2,554,868)
財 務 収 益	5,670	3,967	4,667
事 業 外 収 益	145,149	161,266	195,303
特 別 利 益	72,772	1,293	175,770
計	2,132,354	2,414,054	2,930,608
営 業 費 用	1,814,237	2,037,576	2,063,460
財 務 費 用	42,704	39,322	36,174
事 業 外 費 用	6,420	13,560	54,825
特 別 損 失	78,271	78,271	65,831
計	1,941,632	2,168,729	2,220,290
当 年 度 純 利 益	190,722	245,325	710,318
前年度繰越利益剰余金	0	0	0
その他未処分利益剰余金変動額	363,968	223,443	134,325
当年度未処分利益剰余金	554,690	468,768	844,643

## 4. 発電所一覧表

### (1) 水力発電所

発電所名		三成発電所	飯梨川第一発電所	飯梨川第二発電所	飯梨川第三発電所	志津見発電所		
事項		三成発電所	飯梨川第一発電所	飯梨川第二発電所	飯梨川第三発電所	志津見発電所		
発電所位置		仁多郡奥出雲町 三成1394の3	安来市広瀬町 布部458	安来市広瀬町 菅原695の7	安来市広瀬町 布部2009	飯石郡飯南町 角井1895の3		
要目	使用河川名	斐伊川水系斐伊川	斐伊川水系飯梨川	斐伊川水系飯梨川	斐伊川水系飯梨川	斐伊川水系神戸川		
	認可最大出力	2,830(kW)	3,000(kW)	1,400(kW)	250(kW)	1,700(kW)		
	常時尖頭出力	2,670(kW)	2,500(kW)	1,400(kW)	—	—		
	常時出力	950(kW)	800(kW)	380(kW)	50(kW)	380(kW)		
	発電型式	ダム水路式	ダム水路式	水路式	ダム式	ダム式		
	最大有効落差	58.76(m)	98.75(m)	46.43(m)	42.40(m)	42.40(m)		
	最大使用水量	6.00 (m <sup>3</sup> /s)	3.70 (m <sup>3</sup> /s)	3.70 (m <sup>3</sup> /s)	0.80 (m <sup>3</sup> /s)	5.00 (m <sup>3</sup> /s)		
	送電系統	三成送電線を経て 北原線(66kV)に 接続	飯梨川線、菅原連 絡線(66kV)を経て 菅原変電所に接続	菅原連絡線(66kV) を経て菅原変電所 に接続	比田線、坊床支線 布部ダム線(6.6kV) に接続	田儀線(6.6kV)に 接続		
	運転開始年月日	昭和29年6月1日 (S28.10.15 一部運転)	昭和43年4月1日 (S42.12.1 一部運転)	昭和43年11月1日 (H29.3.1 リニューアル)	平成3年4月26日	平成23年4月26日		
	制御方式	遠方監視制御	遠方監視制御	遠方監視制御	遠方監視制御	遠方監視制御		
土木工 作物	貯水池	全容量	3,438(千m <sup>3</sup> )	7,100(千m <sup>3</sup> )	飯梨川第一発電所 放水口から取水	7,100(千m <sup>3</sup> )	50,600(千m <sup>3</sup> )	
		有効容量	1,138(千m <sup>3</sup> )	5,000(千m <sup>3</sup> )		5,000(千m <sup>3</sup> )	46,600(千m <sup>3</sup> )	
		利用水深	6.50(m)	16.40(m)		16.40(m)	13.40(m)	
		湛水面積	316,000(m <sup>2</sup> )	386,000(m <sup>2</sup> )		386,000(m <sup>2</sup> )	2,300,000(m <sup>2</sup> )	
	ダム	型式 (ダム名)	アーチ式コンクリートダム (三成ダム)	重力式コンクリートダム (布部ダム)	—	重力式コンクリートダム (布部ダム)	重力式コンクリートダム (志津見ダム)	
		頂長及び高さ	109.72 42.0(m)	190.00 55.9(m)	—	190.00 55.9(m)	266.00 85.5(m)	
	導水路	総延長	2,292.168(m)	3,161.000(m)	3,017.528(m)	—	—	
		種類及び構造	圧力隧道(馬蹄型)	圧力隧道(馬蹄型)	無圧隧道、暗渠	—	—	
	水鉄 圧管	径	上部1.8m 下部1.2m	上部1.35m 下部 0.85m	内径1.35~1.00(m)	内径0.70~0.47(m)	内径1,600~1,200(mm)	
		延長	103.430(m)	223.420(m)	100.405(m)	73.095(m)	122.73(m)	
主要 機器	水車	種類	フランシス水車	フランシス水車	フランシス水車	フランシス水車	フランシス水車	
		型式	縦軸単輪単流渦巻型	縦軸単輪単流渦巻型	横軸単輪単流渦巻型	横軸単輪単流渦巻型	横軸単輪複流渦巻型	
		最大出力	3,150(kW)	3,150(kW)	1,475(kW)	275(kW)	1,800(kW)	
		使用水量	6.00(m <sup>3</sup> /s)	3.70(m <sup>3</sup> /s)	3.70(m <sup>3</sup> /s)	0.80(m <sup>3</sup> /s)	5.00(m <sup>3</sup> /s)	
		回転数	600(rpm)	720(rpm)	725(rpm)	900(rpm)	600(rpm)	
	発電機	種類	交流三相同期発電機	交流三相同期発電機	交流三相籠型誘導発電機	交流三相誘導発電機	交流三相同期発電機	
		型式	縦軸回転界磁型	縦軸回転界磁型	横軸空冷出口管通風型	横軸籠型回転子型	横軸回転界磁型	
		定格出力	3,500(kVA)	3,600(kVA)	1,400(kW)	250(kW)	1,760(kVA)	
	変圧器容量	3,500(kVA)	3,500(kVA)	1,650(kVA)	—	—		
	当初建設費		394,027(千円)	538,841(千円)	307,000(千円)	232,251(千円)	1,371,786(千円)	
建設 費 内 訳	共同 事業 費	電気事業	48,404(千円)	21,000(千円)	—	10,166(千円)	620,238(千円)	
		治水事業	—	1,327,000(千円)	—	—	140,464,762(千円)	
		砂防事業	123,919(千円)	—	—	—	—	
	都 市 水	上水事業	—	78,000(千円)	—	—	—	
		工水事業	—	194,000(千円)	—	—	3,915,000(千円)	
	専 施 設 費	電気事業	345,623(千円)	517,841(千円)	307,000(千円)	222,085(千円)	751,548(千円)	
		都 市 水	上水事業	—	557,870(千円)	—	—	—
		工水事業	—	759,228(千円)	—	—	—	
主要機器納入会社		(株) 東芝	(株) 日立製作所	イームル工業(株)	イームル工業(株)	イームル工業(株)		

事項		発電所名		八戸川第二発電所	八戸川第三発電所	勝地発電所	
		八戸川第一発電所					
		1号機	2号機				
発電所位置		江津市桜江町江尾104の2		江津市桜江町八戸1661の7	江津市桜江町八戸1661の9	江津市桜江町八戸1216の4	
要目	使用河川名	江の川水系八戸川及び八戸川支流家古屋川		江の川水系八戸川	江の川水系八戸川	江の川水系八戸川支流家古屋川	
	認可最大出力	5,600(5,300)(kW)	1,500(1,000)(kW)	2,500(kW)	240(kW)	770(kW)	
	常時尖頭出力	4,600(kW)	—	710(kW)	—	—	
	常時出力	570(kW)	—	270(kW)	159(kW)	—	
	発電型式	水路式	水路式	ダム式	ダム式	水路式	
	最大有効落差	65.21(63.38)(m)	68.87(62.21)(m)	30.00(m)	54.50(m)	33.20(m)	
	最大使用水量	10.50(10.00)(m³/s)	2.75(2.00)(m³/s)	10.00(m³/s)	0.60(m³/s)	3.00(m³/s)	
	送電系統	八戸川送電線を経て桜江矢上線(66kV)に接続	1号機母線(6.6kV)を経て八戸川送電線(66kV)に接続	新八戸川送電線を経て八戸川送電線(66kV)に接続	連絡送電線、第二発電所母線(3.3kV)を経て新八戸川送電線(66kV)に接続	今市線(6.6kV)に接続	
	運転開始年月日	昭和33年1月1日 (S51.4.1 出力変更) (S57.4.1 出力変更)	昭和57年4月1日 (H28.9.2 リニューアル)	昭和51年4月1日 (H28.4.2 リニューアル)	平成12年10月1日	平成12年10月1日	
	制御方式	遠方監視制御		遠方監視制御	遠方監視制御	遠方監視制御	
土木 工作 物	貯水池	全容量	八戸川第二発電所 放水池より取水	(流込式)	26,800(千m³)	26,800(千m³)	(流込式)
		有効容量		—	23,200(千m³)	23,200(千m³)	—
		利用水深		—	21.60(m)	21.60(m)	—
		湛水面積		—	1,282,000(m²)	1,282,000(m²)	—
	ダム	型式 (ダム名)	重力式コンクリートダム (家古屋川勝地取水堰堤)		重力式コンクリートダム (八戸ダム)	重力式コンクリートダム (八戸ダム)	重力式コンクリートダム (砂防堰堤)
		頂長及び高さ	44.70 4.4(m)		151.00 72.0(m)	151.00 72.0(m)	44.10 11.6(m)
	導水路	総亘長	7,538.595(m)		—	—	955.3(m)
		種類及び構造	圧力隧道(馬蹄型)	無圧隧道(直壁円弧型)	—	—	暗渠(矩型) 無圧隧道(馬蹄型)
	水鉄 圧管	径	上部2.0m 下部1.8m	上部1.2m 下部0.8m	内径2.3(m)	内径500~400(mm)	内径1,200~750(mm)
		延長	103.302(m)	17.431(m)	50.49(m)	58.842(m)	水圧鉄管44.9(m) 余水管41.3(m)
主要 機器	水車	種類	フランシス水車	フランシス水車	フランシス水車	フランシス水車	フランシス水車
		型式	縦軸単輪単流渦巻型	横軸単輪単流渦巻型	横軸二輪単流渦巻型	横軸単輪単流渦巻型	横軸単輪複流渦巻型
		最大出力	6,000(kW)	1,620(kW)	2,650(kW)	261(kW)	820(kW)
		使用水量	12.00(m³/s)	2.75(m³/s)	10.00(m³/s)	0.60(m³/s)	3.00(m³/s)
		回転数	514(rpm)	915(rpm)	365(rpm)	1,200(rpm)	720(rpm)
	発電機	種類	交流三相同期発電機	交流三相籠型誘導発電機	交流三相誘導発電機	交流三相誘導発電機	交流三相同期発電機
		型式	縦軸回転界磁型	横軸空冷出口管通風型	横軸出口管通風型	横軸空冷自由通風型	横軸回転界磁出口管通風型
		定格出力	6,500(kVA)	1,500(kW)	2,500(kW)	240(kW)	855(kVA)
	変圧器容量	7,500(kVA)		3,000(kVA)	—	—	
	当初建設費		980,120(千円)	355,600(千円)	1,042,170(千円)	281,419(千円)	1,284,445(千円)
建設 費 内 訳	共同 事業 費	電気事業	116,328(千円)	—	123,834(千円)	32,715(千円)	—
		治水事業	—	—	6,118,020(千円)	70,947(千円)	—
		砂防事業	95,670(千円)	—	—	—	—
		都 用 市 水	上水事業	—	—	36,900(千円)	—
	工事事業		—	—	114,380(千円)	—	—
	専 施 設 費	電気事業	863,792(千円)	355,600(千円)	918,336(千円)	248,704(千円)	1,284,445(千円)
都 用 市 水		上水事業	—	—	—	—	—
	工事事業	—	—	—	—	—	
主要機器納入会社		三菱電機(株)	イーモル工業(株)	イーモル工業(株) (株)明電舎	イーモル工業(株)	イーモル工業(株)	



発電所名		三隅川発電所	御部発電所	矢原川発電所	田井発電所	
事項						
発電所位置		浜田市三隅町 下古和1040の2	浜田市三隅町 上古和913の13	益田市美都町 宇津川ハ1409の1	雲南市吉田町 曾木520番地4	
要目	使用河川名	三隅川水系三隅川	三隅川水系三隅川	三隅川水系矢原川	斐伊川水系深野川及び矢入川	
	認可最大出力	7,400(kW)	460(kW)	100(kW)	100(kW)	
	常時尖頭出力	7,000(kW)	—	—	—	
	常時出力	2,000(kW)	180(kW)	70(kW)	55(kW)	
	発電型式	ダム水路式	ダム式	水路式	水路式	
	最大有効落差	193.50(m)	29.76(m)	29.79(m)	22.3(m)	
	最大使用水量	4.70(m <sup>3</sup> /s)	2.00(m <sup>3</sup> /s)	0.50(m <sup>3</sup> /s)	0.595(m <sup>3</sup> /s)	
送電系統	三隅川送電線を経て東益田三隅線(66kV)に接続	上古和線(6.6kV)に接続	上古和線(6.6kV)に接続	温泉線(6.6kV)に接続		
運転開始年月日	昭和36年4月14日	平成2年4月26日	昭和36年9月16日	昭和32年6月20日 (H28.8.1雲南市から譲受)		
制御方式	遠方監視制御	遠方監視制御	遠方監視制御	随時巡回		
土木 工作 物	貯水池	全容量	2,526(千m <sup>3</sup> )	16,800(千m <sup>3</sup> )	(流込式)	(流込式)
		有効容量	1,558(千m <sup>3</sup> )	15,500(千m <sup>3</sup> )	—	—
		利用水深	10.00(m)	9.60(m)	—	—
		湛水面積	207,000(m <sup>2</sup> )	1,040,000(m <sup>2</sup> )	—	—
	ダム	型式 (ダム名)	重力式コンクリートダム (木都賀ダム)	重力式コンクリートダム (御部ダム)	重力式コンクリートダム (矢原川取水堰)	アーチ式コンクリートダム(深野川取水堰堤) 重力式コンクリートダム(矢入川取水堰)
		頂長及び高さ	98.00 39.00(m)	177.00 63.0(m)	32.25 5.5(m)	(深野川取水堰堤) 16.5 5.7(m)
	導水路	総亘長	6,298.422(m)	—	1,063.772(m)	1,769.600(m)
		種類及び構造	圧力隧道(馬蹄型)	—	蓋渠、水路橋	蓋渠、開渠、水路橋
	水鉄 圧管	径	上部1.6m 下部1.2m	内径1.20~0.80(m)	上部0.57m 下部0.47m	内径0.57(m)
		延長	495.830(m)	95.367(m)	41.737(m)	30.4(m)
主要 機器	水車	種類	フランス水車	フランス水車	フランス水車	フランス水車
		型式	縦軸単輪単流渦巻型	横軸単輪単流渦巻型	横軸単輪単流渦巻型	横軸単輪単流渦巻型
		最大出力	7,820(kW)	490(kW)	112(kW)	110(kW)
		使用水量	4.70(m <sup>3</sup> /s)	2.00(m <sup>3</sup> /s)	0.50(m <sup>3</sup> /s)	0.595(m <sup>3</sup> /s)
		回転数	900(rpm)	720(rpm)	900(rpm)	930(rpm)
	発電機	種類	交流三相同期発電機	交流三相誘導発電機	交流三相誘導発電機	交流三相誘導発電機
		型式	縦軸回転界磁型	横軸籠型回転界磁型	横軸籠型開放直結型	横軸回転界磁型
変圧器容量	8,700(kVA)	—	—	150(kVA)		
当初建設費		1,153,288(千円)	535,123(千円)	19,260(千円)	—	
建設 費	共同 事業 費	電気事業	278,620(千円)	61,722(千円)	1,041(千円)	—
		治水事業	—	20,576,400(千円)	—	—
		砂防事業	69,386(千円)	—	3,706(千円)	—
	都 用 市 水	上水事業	—	—	—	—
		工水事業	—	—	—	—
内 用 専	施設 費	電気事業	874,668(千円)	473,401(千円)	18,219(千円)	—
		上水事業	—	—	—	—
		工水事業	—	—	—	—
主要機器納入会社		(株)日立製作所	イーメル工業(株)	東洋電機(株) (株)荏原製作所	(株)精電舎	

## (2) 風力発電所

発 電 所 名		隠岐大峯山風力発電所	江津高野山風力発電所
発 電 所 位 置		隠岐郡隠岐の島町 西村字大峯 902	江津市二宮町、敬川町、千田町
要 目	認 可 最 大 出 力	1,200kW (600kW×2 基)	20,700kW (2,300kW×9 基)
	年 間 平 均 風 速	7.1m/s (地上 30m)	6.1m/s (地上 80m)
	送 電 系 統	五箇線 (6.6kV) に接続	金城江津線 (66kV) に接続
	運 転 開 始 年 月 日	平成 16 年 2 月 1 日	平成 21 年 2 月 1 日
	制 御 方 式	遠方監視制御	遠方監視制御
タ ワ ー	種 類 ・ 構 造	テーパーモノポール	モノポール
	タ ワ ー 高 さ	47.55m	76.9m
	タ ワ ー 直 径	下部φ 3.3m・上部φ 2.2m	下部φ 4.30m・上部φ 2.96m
	タ ワ ー 重 量	66.0t	194.3t
風 車 ・ 発 電 機	風 車 種 別	3 枚翼プロペラ型 アップウインド式	水平軸プロペラ型 アップウインド式
	ハ ブ 高 さ	50.0m	80.0m
	ナ セ ル 重 量	24.0t	91.2t
	カ ッ ト イ ン 風 速	2.5m/s	3.0m/s
	定 格 風 速	11.5m/s	13.0m/s
	カ ッ ト ア ウ ト 風 速	22.0m/s	25.0m/s
	復 帰 風 速	18.0m/s	22.0m/s
	耐 風 速	60.0m/s	70.0m/s
	発 電 機 種 別	交流励磁同期発電機 (超同期セルビウス式)	巻線型誘導発電機
定 格 出 力	600kW (1 台あたり)	2,300kW (1 台あたり)	
ロ ブ レ ー ド	ロ ー タ ー 直 径	45.8m	90.0m
	ロ ー タ ー 回 転 数	14~20rpm (可変速運転)	9.8~18.2rpm (可変速運転)
	ブ レ ー ド 材 質	GFRP	GFRP
	ブ レ ー ド 重 量	1.6t/枚	10.8t/枚
	制 御 方 式	フルスパンピッチ制御方式	フルスパンピッチ制御方式
変 圧 器 容 量	700kVA×2 台 (風車用)	20,700kVA×1 台 (連系用) 2,300kVA×9 台 (風車用)	
当 初 建 設 費	855,301 千円	6,288,191 千円	
主 要 機 器 納 入 会 社	岩谷産業(株)	(株)IHI	

(3) 太陽光発電所

発電所名	江津浄水場 太陽光発電所	三隅港臨海工業団地 太陽光発電所	江津地域拠点工業団地 太陽光発電所	
発電所位置	江津市松川町 上河戸 703	浜田市三隅町 岡見 6323-2, 7, 9, 10	江津市松川町 上河戸 390-17	
要目	認可最大出力	430kW	1,800kW	1,200kW
	送電系統	松山線 (6.6kV) に 接続	古市場線 (6.6kV) に 接続	渡津線 (6.6kV) に 接続
	運転開始年月日	平成 26 年 3 月 14 日	平成 28 年 3 月 1 日	平成 28 年 3 月 1 日
	制御方式	随時監視	随時監視	随時監視
太陽電池 モジュール	太陽電池種類	多結晶シリコン	多結晶シリコン	多結晶シリコン
	定格出力	447kW (242W×1,848 枚)	1,937kW (260W×7,452 枚)	1,435kW (260W×5,520 枚)
	最大出力	447kW	1,937kW	1,435kW
パワーコン ディショナ	定格出力	250kW×2 台	600kW×3 台	600kW×2 台
	定格容量	250kVA×2 台	600kVA×3 台	600kVA×2 台
変圧器容量	300kVA×2 台	600kVA×3 台	600kVA×2 台	
当初建設費	174,640 千円	733,366 千円	548,503 千円	
主要機器納入会社	京セラ(株)	京セラ(株)	京セラ(株)	

発電所名	石見空港太陽光発電所	
発電所位置	益田市市原町、内田町、高津町、飯田町	
要目	認可最大出力	3,490kW(東地区:1,500kW)(西地区:1,990kW)
	送電系統	木工線 (6.6kV) に接続
	運転開始年月日	平成 29 年 6 月 2 日
	制御方式	随時監視
太陽電池 モジュール	太陽電池種類	多結晶シリコン (防眩仕様)
	定格出力	3,799kW (東地区:265W×6,188 枚) (西地区:265W×8,148 枚)
	最大出力	3,799kW (東地区:1,639kW) (西地区:2,159kW)
パワーコン ディショナ	定格出力	500kW×6 台、490kW×1 台 (東地区:500kW×3 台) (西地区:500kW×3 台、490kW×1 台)
変圧器容量	500kVA×7 台 (東地区:500kVA×3 台) (西地区:500kVA×4 台)	
当初建設費	1,443,765 千円 (税抜)	
主要機器納入会社	京セラ(株)	

# 工業用水道事業

# 【工業用水道事業】

## 1. 事業の概要

### (1) 飯梨川工業用水道事業

県は、昭和 34 年 8 月の集中豪雨による水害を契機に、県東部を流れる飯梨川の洪水の調節、下流域への工業用水及び水道水の供給、並びに発電所建設による電力供給を目的として、飯梨川に布部ダムを建設する飯梨川総合開発事業を計画し、昭和 38 年 4 月に着工、昭和 43 年 3 月に完成した。

このダムを水源とする工業用水道事業は、当初計画では既存の工場や中海新産業都市区域の誘致工場へ日量 50,000 m<sup>3</sup>給水する計画であったが、社会経済情勢の変動により昭和 42 年 12 月に給水量を工水日量 34,000 m<sup>3</sup>、上水日量 16,000 m<sup>3</sup>（布部系）に変更し、昭和 44 年 6 月から給水を行った。その後、水道事業の第一次拡張（山佐系）・第二次拡張（斐伊川）を経て布部系送水施設については上水道目的での使用の見込みがなくなったことから、平成 23 年 7 月から送水施設を工業用水道事業に専用化した。

### (2) 江の川工業用水道事業

県の中央部を流れる江の川水系八戸川に昭和 51 年 3 月建設された八戸ダムには、日量 230,000 m<sup>3</sup>（工水日量 203,000 m<sup>3</sup>、上水日量 27,000 m<sup>3</sup>）の都市用水が確保されており、昭和 55 年度から上水、工水の共同事業として工水日量 50,000 m<sup>3</sup>、上水日量 27,000 m<sup>3</sup>について建設工事に着手した。

工業用水道事業は、江津市浅利町、松川町に位置する江津地域拠点工業団地への進出企業に日量 50,000 m<sup>3</sup>の工業用水を供給しようとするもので、このうち一期計画として日量 15,000 m<sup>3</sup>の基幹施設を完了し、平成 8 年 8 月から給水を行っている。

## 2. 給水計画

平成30年度給水計画

### (1) 飯梨川工業用水道事業

(平成30年4月1日現在)

給水開始	昭和44年6月
給水能力	34,000m <sup>3</sup> /日
売水量	19,910m <sup>3</sup> /日(施設利用率58.6%)
料金  平成21年 10月1日改定	次の区分により算定した額に1.08を乗じて得た額  〔 基本料金 1 m <sup>3</sup> 当たり 17円50銭 特定料金 1 m <sup>3</sup> 当たり 17円50銭 超過使用料金 1 m <sup>3</sup> 当たり 35円
売水先  28企業  (29事業所)	日立金属(株)安来工場 14,500m <sup>3</sup> /日  リョーノファクトリー(株) 1,260m <sup>3</sup> /日  その他26企業 4,150m <sup>3</sup> /日

### (2) 江の川工業用水道事業

給水開始	平成8年8月
給水能力	50,000m <sup>3</sup> /日(うち整備済 15,000m <sup>3</sup> /日)
売水量	8,208m <sup>3</sup> /日(整備済給水能力に対する施設利用率54.7%)
料金  平成24年 3月27日改定  (原水供給追加)	次の区分により算定した額に1.08を乗じて得た額  〔 基本料金 1 m <sup>3</sup> 当たり 〔 45円(～400m <sup>3</sup> ) 20円(401m <sup>3</sup> ～) 9円(原水) 特定料金 1 m <sup>3</sup> 当たり 〔 45円(基本使用水量が400m <sup>3</sup> 以下の場合) 20円( " が400m <sup>3</sup> を超える場合) 9円(原水) 超過使用料金 1 m <sup>3</sup> 当たり 〔 90円(基本使用水量が400m <sup>3</sup> 以下の場合) 40円( " が400m <sup>3</sup> を超える場合) 18円(原水)
売水先  3企業	第一稀元素化学工業(株) 6,792m <sup>3</sup> /日 (同)しまね森林発電 1,200m <sup>3</sup> /日 (株)日本パーカーライジング広島工場 216m <sup>3</sup> /日

### 3. 営業収支の状況

(単位: 千円)

年 度 科 目	平成 2 7 年度	平成 2 8 年度	平成 2 9 年度
営 業 収 益	180,184	177,477	176,552
(うち料金収入)	(179,948)	(176,760)	(176,292)
営 業 外 収 益	27,501	25,066	24,441
計	207,685	202,543	200,993
営 業 費 用	154,815	150,203	158,509
営 業 外 費 用	9,437	7,966	7,187
計	164,252	158,169	165,696
当年度純利益 (△当年度純損失)	43,433	44,374	35,297
前年度繰越欠損金	1,463,381	1,419,948	1,375,575
当年度未処理欠損金	1,419,948	1,375,574	1,340,278

## 4. 施設の概要

### (1) 飯梨川工業用水道事業

施工期間	昭和38年4月～昭和48年6月		
水源	斐伊川水系 飯梨川（伏流水）		
給水能力	工業用水 34,000m <sup>3</sup>		
貯水設備	布部ダム	有効容量5,000,000m <sup>3</sup> 、長さ190m、高さ55.9m 重力式コンクリートダム	
	逆調整池	有効容量60,000m <sup>3</sup> 、長さ48.0m、高さ2.0m 自動倒伏門扉3門	
		コンクリート分水路 延長1,410.1m	
取水設備	集水埋渠	多孔ヒューム管 埋設深4.0m(建設当初) 径900mm～1,100mm 延長700m	
浄水設備	沈砂池	容量700m <sup>3</sup>	
配水設備	建屋	249m <sup>2</sup> ポンプ室、電気室	
	ポンプ	口径400mm×125kW×1台、口径350mm×110kW×2台 ディーゼルエンジン180PS×1台(予備)	
	配水池	荒島配水池 容量3,000m <sup>3</sup> 飯島配水池 容量4,700m <sup>3</sup>	
	配水管	ダクタイル鋳鉄管他 径100mm～800mm、延長22,993m	
建設費 (単位:千円)	事業費目	全体事業	工業用水道
		総額	1,317,158
	専用施設費分	950,262	484,840
	共同事業費分	272,000	194,000
	その他	94,896	80,448

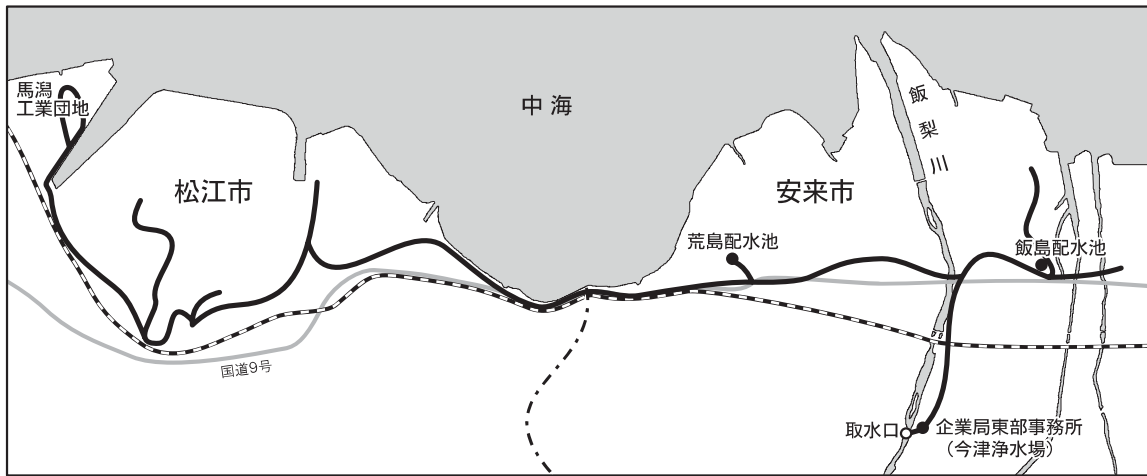


## (2) 江の川工業用水道事業

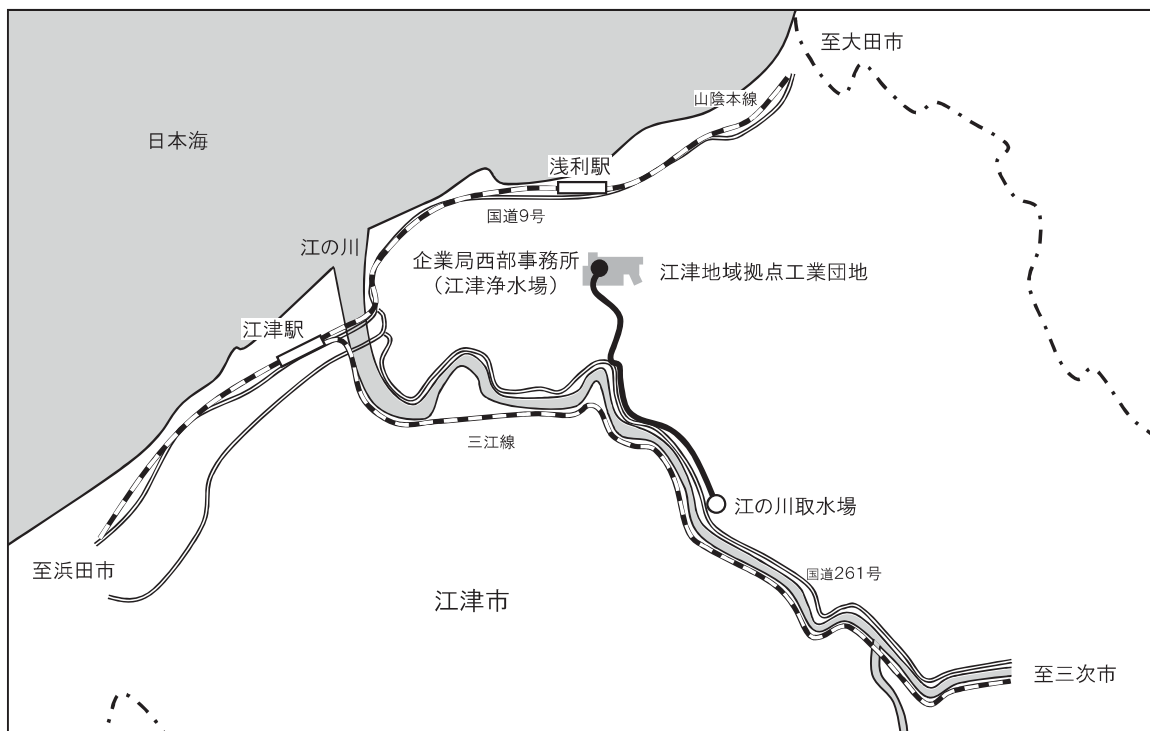
施工期間	昭和55年～未定（一部供用開始H8～）	
水源	江の川水系 八戸川（表流水）	
給水能力	日量 50,000m <sup>3</sup> （整備済 15,000m <sup>3</sup> ）	
貯水設備	八戸ダム	有効容量23,200,000m <sup>3</sup> 、長さ151m、高さ72.0m 重力式コンクリートダム
取水設備	取水塔	高さ38m
	取水ポンプ	立軸斜流ポンプ 口径300mm×210kW×2台
	発電機棟	339m <sup>2</sup> 自家用発電機 400kVA 1台
導水設備	導水管	ダクタイル鋳鉄管 径1,000mm 延長5,575m
浄水設備	着水井	容量174m <sup>3</sup>
	管理棟	1,307m <sup>2</sup> 電気計装設備、薬品注入設備、水質試験室
	発電機棟	162m <sup>2</sup> 自家用発電機 625kVA×1台
	排水処理設備	天日乾燥床 680m <sup>2</sup> ×2池
	急速混和池	1池
	薬品沈殿池	1池
	送水ポンプ井	1池
配水設備	ポンプ	推定末端圧一定給水ユニット(出力3.7kW×2台)×2組
	配水管	ダクタイル鋳鉄管 径100mm～450mm、延長1,517m
建設費	総額	4,846,810 千円

## 5. 概要図

### (1) 飯梨川工業用水道事業



### (2) 江の川工業用水道事業



# 水道事業

# 【水 道 事 業】

## 1. 事業の概要

### (1) 島根県水道用水供給事業

#### ■創設事業(飯梨川水道施設:布部系)

県は、昭和34年8月の集中豪雨による水害を契機に、県東部を流れる飯梨川の洪水調節、下流地域への工業用水及び水道用水の供給、並びに発電所建設による電力供給を目的として、飯梨川に布部ダムを建設する飯梨川総合開発事業を計画し、昭和38年4月に着工、昭和43年3月に完成した。

このダムを水源とする水道用水供給事業は、工業用水道事業の計画変更により日量16,000 m<sup>3</sup> (布部系)として、昭和44年6月から松江市及び旧東出雲町に、昭和48年7月には安来市に給水を開始した。

なお、工業用水と共有していた布部系の送水施設については、第1期拡張事業・第2期拡張事業の給水開始を経て、平成23年7月、工業用水道事業に専用化した。

#### ■第1期拡張事業(飯梨川水道施設:山佐系)

県東部の各市町では、年々上水需要の増加が見込まれていたが、市町単独での水源開発が困難なことから、県は、飯梨川支流山佐川に山佐ダムを建設する山佐川総合開発事業を計画し、昭和48年4月に着工、昭和55年4月に完成した。

このダムを水源として、松江市、安来市、旧東出雲町及び旧八束町を対象に、日量36,000 m<sup>3</sup>の水道用水を供給する第1期拡張事業(山佐系)を昭和48年4月に着工し、昭和55年3月に完成、同年5月から松江市及び旧東出雲町、昭和57年6月には旧八束町、昭和59年7月には安来市に給水を開始した。

平成10年4月からは工業用水と共用していた布部系・日量16,000 m<sup>3</sup>を、山佐系の送水管に振り替えて飯梨川系全量を安来市上坂田町地内の今津浄水場で一括浄水処理する改良工事に着手し、平成12年3月に完成した。

#### ■第2期拡張事業(斐伊川水道施設:尾原系)

県東部の将来にわたる安全かつ安定した給水体制を確保するため、国土交通省が一級河川斐伊川に建設する尾原ダムに参画して平成5年度から行ってきた斐伊川水道建設事業(計画日量35,400 m<sup>3</sup>)が平成22年度に完了し、平成23年4月から松江市(旧東出雲町含む)、出雲市及び雲南市に給水を開始した。

これらの事業により、島根県水道用水供給事業としては県東部の4市1団体(松江市、安来市、出雲市、雲南市、斐川宍道水道企業団)へ給水している。

### (2) 江の川水道用水供給事業

県の中央部を流れる江の川水系八戸川に昭和51年3月に建設された八戸ダムには、日量230,000 m<sup>3</sup> (工水日量203,000 m<sup>3</sup>、上水日量27,000 m<sup>3</sup>)の都市用水が確保されている。このうち工業用水日量50,000 m<sup>3</sup>、上水道用水日量27,000 m<sup>3</sup>について、昭和55年度から上水、工水の共同事業として江津市松川町地内に専用施設の建設工事に着手し、昭和60年3月に完成した。このうち水道用水については、昭和60年4月から江津市及び大田市(旧仁摩町、旧温泉津町含む)に給水を開始した。

受水料金低減のため江津市及び大田市と合意した「江の川水道用水料金算定に係る基本協定」に基づき、送水設備の一部(大田市、江津市の専用施設)を平成28年3月31日に両市へ無償譲渡した。

## 2. 給水計画

### 平成30年度給水計画

#### (1) 島根県水道用水供給事業（飯梨川水道施設）

水源 布部ダム、山佐ダム

給水先	給水能力(m <sup>3</sup> /日)	契約量(m <sup>3</sup> /日)
松江市	40,000	18,300 ~ 23,390
安来市	12,000	9,500 ~ 10,500
2市	52,000	—

(料金算定期間：平成29～31年度)

#### (2) 島根県水道用水供給事業（斐伊川水道施設）

水源 尾原ダム

給水先	給水能力(m <sup>3</sup> /日)	契約量(m <sup>3</sup> /日)
松江市	30,747	19,655 ~ 21,890
出雲市	3,600	1,806 ~ 2,818
雲南市	1,000	900
斐川宍道水道企業団	53	35 ~ 45
3市1団体	35,400	—

(料金算定期間：平成29～31年度)

#### (3) 江の川水道事業

水源 八戸ダム

給水先	給水能力(m <sup>3</sup> /日)	契約量(m <sup>3</sup> /日)
江津市	17,500	6,420 ~ 7,326
大田市	9,500	5,400 ~ 6,154
2市	27,000	—

(料金算定期間：平成30～31年度)

### 3. 営業収支の状況

(単位:千円)

科 目 \ 年 度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
営 業 収 益	1,676,490	1,670,089	1,613,459
(うち料金収入)	(1,675,413)	(1,669,270)	(1,612,455)
営 業 外 収 益	376,072	442,192	353,468
特 別 利 益	395,352	0	3,446
計	2,447,914	2,112,281	1,970,373
営 業 費 用	1,749,497	1,672,809	1,675,897
営 業 外 費 用	187,117	277,599	179,040
特 別 損 失	1,332,148	0	0
計	3,268,762	1,950,408	1,854,937
当 年 度 純 利 益 (△当年度純損失)	△ 820,848	161,873	115,436
前年度繰越欠損金	0	775,910	614,037
その他未処分利益剰余金変動額	44,938	0	0
当年度未処理欠損金	775,910	614,037	498,601

## 4. 施設の概要

### (1) 島根県水道用水供給事業（飯梨川水道施設）

事業	創設（布部）事業		第一期拡張（山佐）事業	
施工期間	昭和38年4月～昭和43年3月		昭和48年4月～昭和55年3月	
取水河川	斐伊川水系 飯梨川（伏流水）		斐伊川水系 山佐川（伏流水）	
浄水場	今津浄水場 安来市上坂田町545-1			
給水能力	日量 16,000m <sup>3</sup>		日量 36,000m <sup>3</sup>	
貯水設備	布部ダム	有効容量5,000,000m <sup>3</sup> 長さ190m、高さ55.9m 重力式コンクリートダム	山佐ダム	有効容量4,450,000m <sup>3</sup> 長さ220m、高さ56m 重力式コンクリートダム
	逆調整池	有効容量60,000m <sup>3</sup> 、自動倒伏門扉3門（長さ48.0m、高さ2.0m） コンクリート分水路 延長1,410.1m		
取水設備	集水埋渠	多孔ヒューム管 埋設深4.0m（建設当初）	多孔ヒューム管 埋設深3.5m（建設当初）	
		径900mm～1,100mm 延長700m	径800mm 延長760m	
	沈砂池	長さ22.0m、幅6.0m、高さ6.76m 容量 700m <sup>3</sup>		
	導水ポンプ	水中斜流ポンプ 300mm×37kW×3台、350mm×45kW×1台		
導水設備	導水管	径600mm 延長141m		
浄水設備	着水井	容量 139m <sup>3</sup>		
	管理棟	547m <sup>2</sup> 操作室、水質試験室、事務室		
	自家発電機棟	85m <sup>2</sup> 高圧自家用発電機 875kVA 1台		
	緩速濾過池	面積 1,316m <sup>2</sup> ×8池、※ 1,283m <sup>2</sup> ×1池		
	滅菌井	容量 51m <sup>3</sup>		
	浄水池	容量 1,176m <sup>3</sup> × 2池		
	次亜塩生成棟	136m <sup>2</sup> 次亜塩生成装置 48kg/日×1台、36kg/日×1台		
	排水処理設備	排水ポンプ 37kW×2台、天日乾燥床 450m <sup>2</sup> ×2池		
送水設備	送水ポンプ室	284m <sup>2</sup> 地上1階、地下1階 鉄筋コンクリート造		
	送水ポンプ	横軸両吸込渦巻ポンプ 口径300mm×132kW×3台 ※口径300mm×132kW×1台		
	調整池	荒島調整池 容量5,000m <sup>3</sup>		
	送水管	ダクタイル鋳鉄管 径700mm 延長14,242m		
建設費 (単位:千円)	事業 費目	全体事業	上水道	第一期拡張
	総額	2,096,605	1,337,317	8,767,912
	専用施設費分	950,262	465,422	5,201,421
	共同事業費分	272,000	78,000	2,466,112
	その他	94,896	14,448	1,100,379
	第二期拡張事業	779,447	779,447	

※印は第二期拡張事業（平成10年4月～平成12年3月施工）

(斐伊川水道施設)

事業	第二期拡張（尾原）事業	
施工期間	平成5年4月～平成23年3月	
取水河川	斐伊川水系 斐伊川（伏流水）	
浄水場	三代浄水場 雲南市加茂町三代96-2	
給水能力	日量 35,400m <sup>3</sup>	
貯水設備	尾原ダム	有効貯水容量 54,200,000m <sup>3</sup> 長さ 443m、高さ 90m 重力式コンクリートダム
取水設備	集水埋管	径 1,000mm 延長 374m
	導水渠	径 1,500mm 延長 140m
	取水ポンプ棟	面積 158m <sup>2</sup>
	取水ポンプ	水中モータポンプ口径 250mm×37kW×3台
導水設備	導水管	径 800mm 延長 301m
浄水設備	着水井	容量 54m <sup>3</sup> ×2池
	管理棟	面積 337m <sup>2</sup> 水質試験室、監視室
	浄水池棟	面積 1,189m <sup>2</sup> 自家発電室（自家用発電機 1000kVA×1台） 次亜室（塩素滅菌設備）
	緩速濾過池	面積 850m <sup>2</sup> ×10池（計画）：6池（完成）
	塩素混和池	容量 70m <sup>3</sup> ×2池
	浄水池	容量 1,350m <sup>3</sup> ×2池
	その他施設	排水池1池、汚泥池1池、粗ろ過池1池
送水設備	送水ポンプ	横軸両吸込渦巻ポンプ口径 250mm×220kW×3台
	調整池	第1調整池 1,600m <sup>3</sup> ×2池 第2調整池 2,600m <sup>3</sup> （中間隔壁二槽式）
	送水管	ダクタイル鋳鉄管 径 150～800mm 延長 108,513m
建設費 (単位：千円)	総額	36,795,597
	専用施設費分	26,509,972（工事費、測量試験費 他）
	共同事業費分	6,382,610（ダム負担金）
	その他	3,903,015（建設利息、事務費 他）

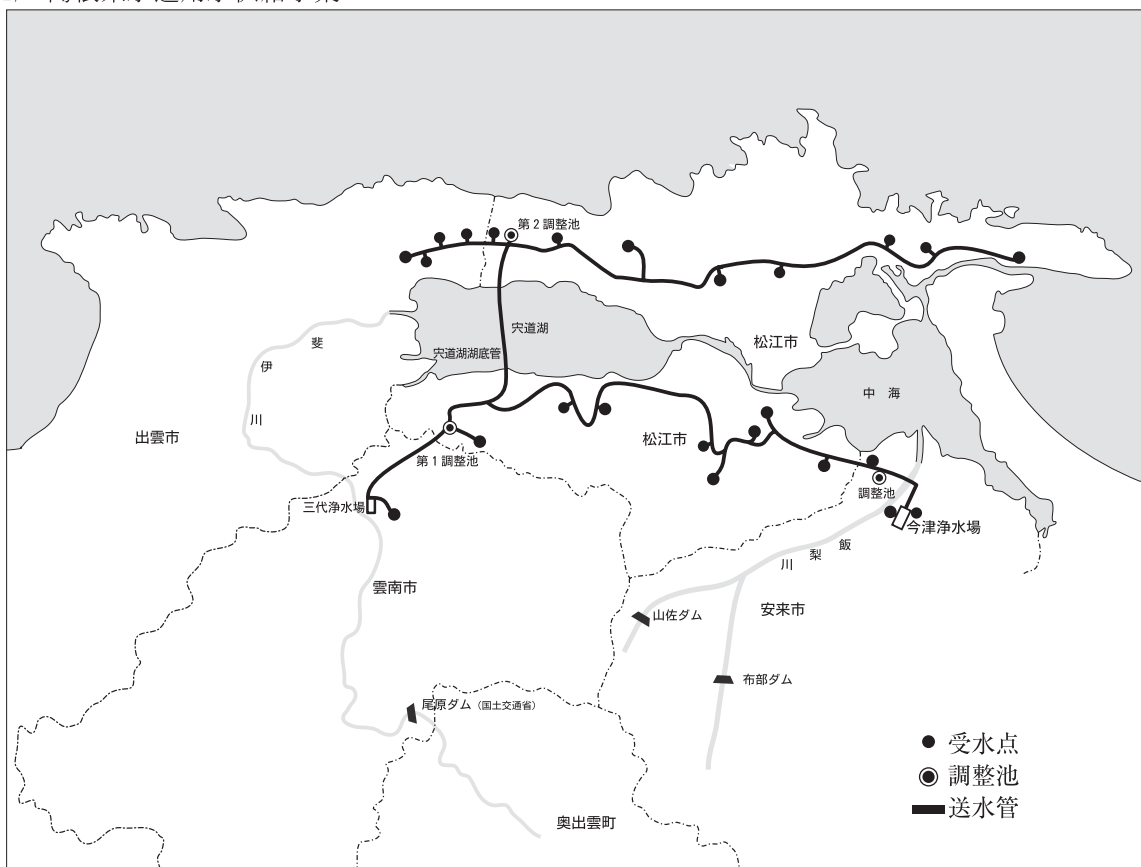


(2) 江の川水道用水供給事業

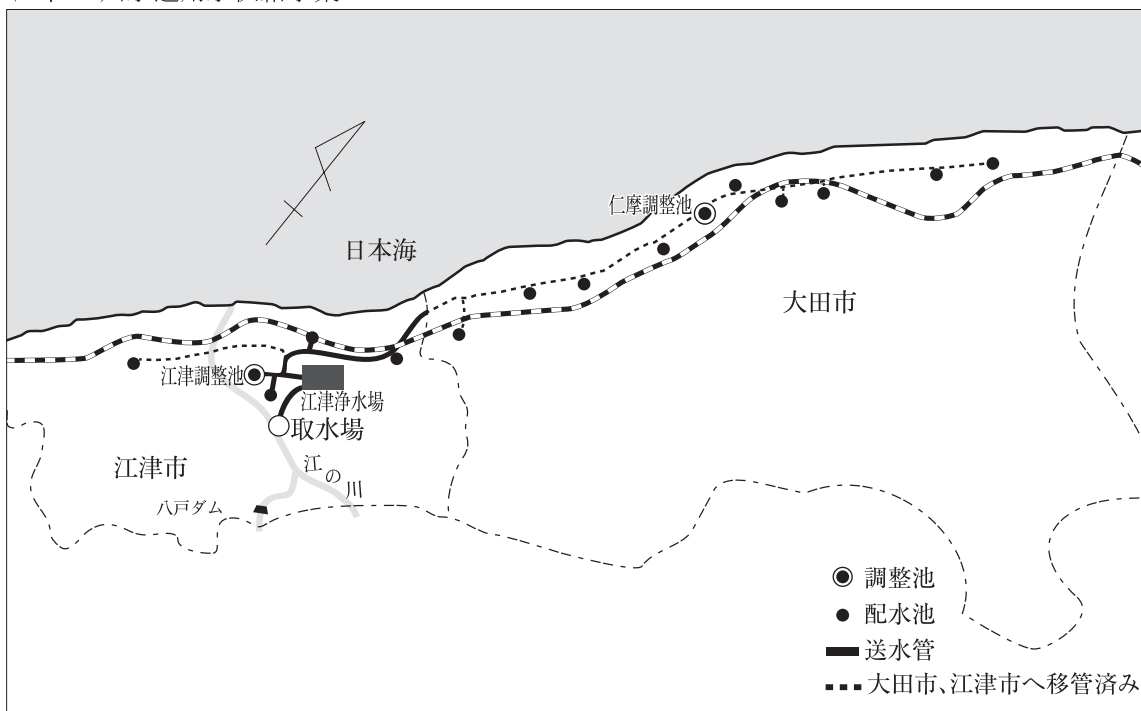
施工期間	昭和 55 年 4 月～昭和 60 年 4 月	
取水河川	江の川水系 八戸川（表流水）	
浄水場	江津浄水場 江津市松川町上河戸 703	
給水能力	日量 27,000m <sup>3</sup>	
貯水設備	八戸ダム	有効容量 23,200,000m <sup>3</sup> 長さ 151m、高さ 72m 重力式コンクリートダム
取水設備	取水塔	高さ 38m
	取水ポンプ	立軸斜流ポンプ口径 300mm×210kW×3台
	発電機棟	面積 339m <sup>2</sup> 自家用発電機 400kVA×1台
導水設備	導水管	ダクタイル鋳鉄管 径 1,000mm 延長 5,575m
浄水設備	着水井	容量 174m <sup>3</sup>
	管理棟	1,307m <sup>2</sup> 電気計装設備、薬品注入設備、水質試験室
	発電機棟	162m <sup>2</sup> 自家用発電機 625kVA×1台
	薬品沈殿池	容量 2,460m <sup>3</sup> ×4池
	緩速濾過池	面積 1,120m <sup>2</sup> ×8池
	塩素混和池	容量 40m <sup>3</sup>
	浄水池	容量 640m <sup>3</sup> ×2池
	次亜塩素生成棟	144m <sup>2</sup> 次亜塩素酸ソーダ装置 60kg/日×2台
	排水処理設備	天日乾燥床 680m <sup>2</sup> ×2池
送水設備	送水ポンプ	横軸両吸込渦巻ポンプ口径 300mm×132kW×3台
	調整池	江津調整池 3,000m <sup>3</sup>
	送水管	ダクタイル鋳鉄管 径 450～700mm 延長 9,693m
建設費	総額	9,437,616 千円 (平成 28 年 3 月 31 日に大田市、江津市へ一部移管)

## 5. 概要図

(1) 島根県水道用水供給事業



(2) 江の川水道用水供給事業



# 宅地造成事業

## 【宅地造成事業】

### 1. 事業の概要

宅地造成事業は、昭和44年に、住宅及び商業団地の造成を始まりとし、道分山開発事業（浜田市）、昭和59年に、笠柄地区宅地造成事業（浜田市）を行い事業精算している。

その後、地域開発の拠点となる工業団地を造成し、平成9年に旭拠点工業団地を造成し、平成18年に法務省へ売却している。

現在、江津市の江津地域拠点工業団地（73.8ha）を販売、松江市の江島工業団地は完売の見込である。

### 2. 営業収支の状況

（単位：千円）

科 目 \ 年 度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
営 業 収 益	24,197	122,296	188,002
営 業 外 収 益	1,723	598	860
計	25,920	122,894	188,862
営 業 費 用	54,566	122,106	193,830
営 業 外 費 用	287	0	1
特 別 損 失	0	0	0
計	54,853	122,106	193,831
当年度純利益 （△当年度純損失）	△ 28,933	788	△ 4,969
前年度繰越欠損金	0	10,237	9,449
その他未処分利益剰余金変動額	0	0	0
当年度未処理欠損金	28,933	9,449	14,417

### 3. 江島工業団地造成事業

江島工業団地は、宍道湖・中海圏域の中央部に位置し、自然環境と交通に恵まれており、工業用地の開発と併せ、港湾施設、水中貯木場等の整備を図り臨海工業地区を形成している。

#### (1) 事業の概要

江島地区に製造業及び流通関連等幅広い業種で形成された工業団地を造成している。

総面積は34.6ha（うち工業用地21.6ha）で、昭和48年度から工事に着手、昭和58年4月から分譲開始している。

平成30年4月1日現在、分譲予定面積216,402㎡に対して19社に分譲し、分譲面積208,769㎡、分譲率96.5%となっている。

残りの未分譲地（7,633.45㎡）も平成30年度内に分譲契約を締結する予定であり、この分譲契約締結をもって江島工業団地は完売する。

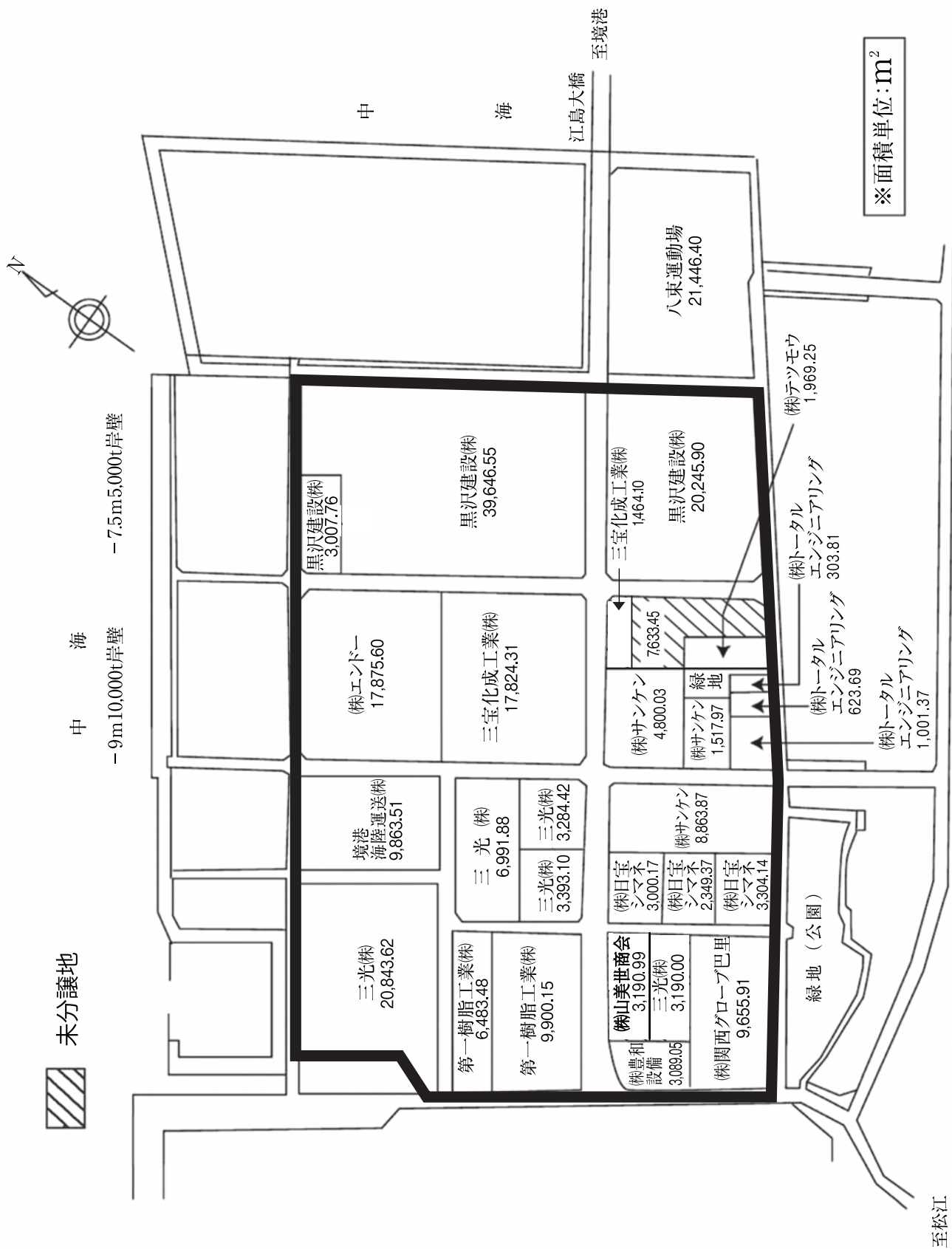
#### (2) 土地利用状況

(単位：㎡)

区 分	面 積	内 訳	備 考
工 業 用 地	216,402		
緑地環境施設	40,588	緑地 8,112 公園 32,476	
道 路 用 地	65,568		
水 路 用 地	4,756		
そ の 他	18,655		
計	345,969		

(3) 団地内配置図

(枠内：工業用地)



## 4. 江津地域拠点工業団地造成事業

江津地域拠点工業団地は、八戸ダムに貯留されている豊富な工業用水を活用し、用水型企業中心の誘致を図り、石央地域の拠点的な工業団地の形成を目指している。

### (1) 事業の概要

江の川工業用水 50,000 m<sup>3</sup>/日を利用した用水型関連業種の立地を想定し、内陸型の工業団地を造成している。

総面積は 73.8ha（うち工業用地は 47.3ha）、昭和 55 年度から造成に着手し、造成済工場用地は 22.3ha で、造成済工場用地への分譲が進んだことに伴い平成 28 年度から第 2 期造成に着手しており、山陰道整備の進捗に合わせて造成することとしている。

平成 30 年 4 月 1 日現在、分譲予定面積 473,776 m<sup>2</sup>に対して 10 社に分譲し、分譲面積 182,110 m<sup>2</sup>、工場用地に対する分譲率 38.4%、造成済工場用地に対する分譲率 81.5%となっている。

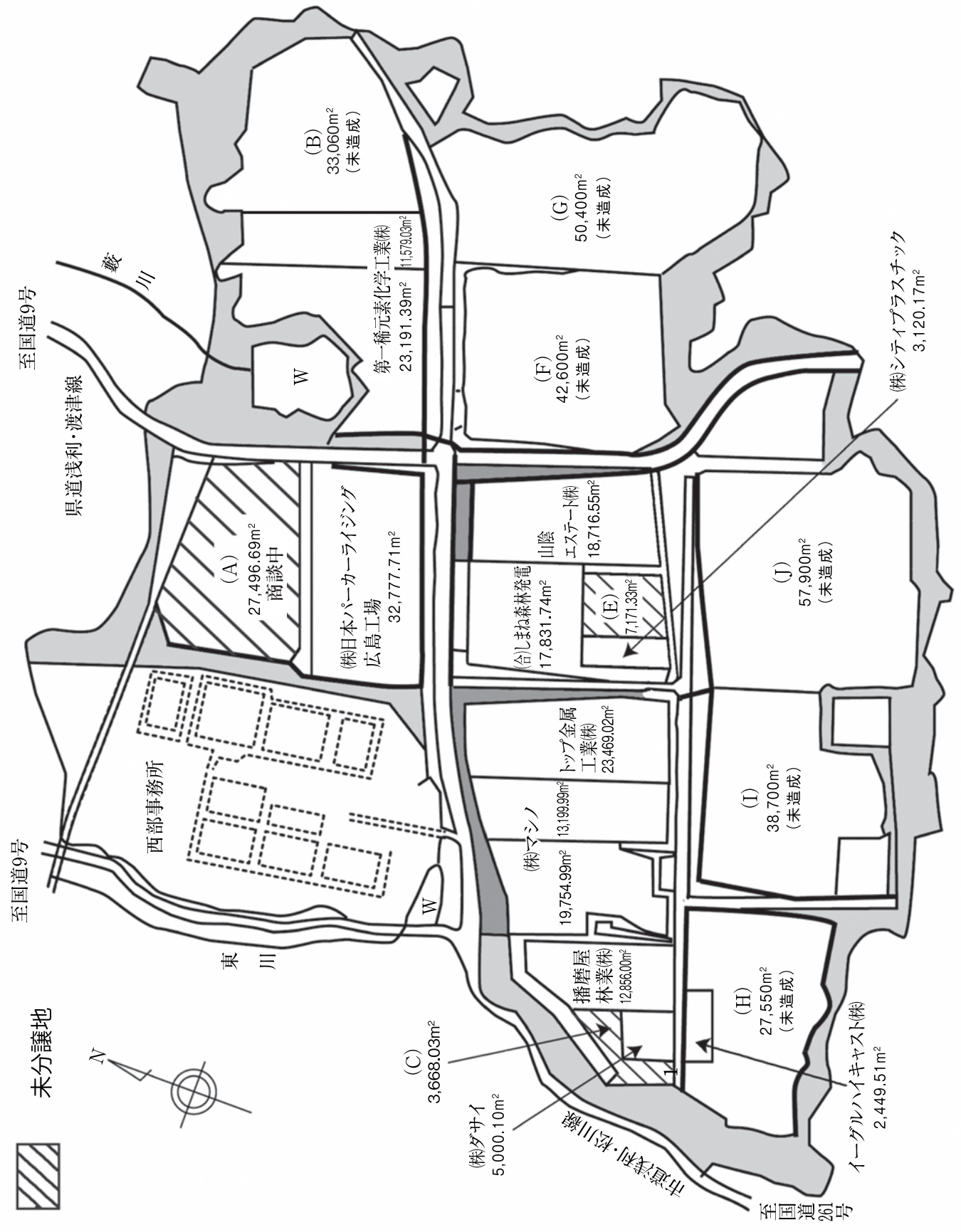
現在、1 m<sup>2</sup>当たり 12,000 円で分譲している。

### (2) 土地利用計画

(単位：m<sup>2</sup>)

区 分	面 積	内 訳	備 考
工 業 用 地	473,776		うち造成済工場用地 223,565
緑地環境施設	184,076	法面周辺緑地 161,276 環 境 施 設 22,800	
道 路 ・ 水 路	80,447		
計	738,300		

(3) 団地内配置図





# 企業局事業概要図

